

(陳受29第11号)

吉祥寺地区の医療と病院機能の維持に関する陳情

受理年月日

平成29年5月30日

陳情者

陳情の要旨

高齢化が進む中、武蔵野市の医療についての取り組みが推進され、安心して暮らせる希望のあるまちづくりのため、将来に向けた医療体制等の整備を図っていただきたいと思い、この陳情を提出いたします。

市内に暮らす者に限らず、高齢者、小さい子どもがいる家庭にとって、遠くの病院に行くことはなかなか困難です。

吉祥寺地区の病院に関して、①平成29年4月に、23床の一般病床と20床の療養病床を有する水口病院が廃院したことにより、吉祥寺地区は平成26年10月以降の約2年半の間に、松井外科病院91床、水口病院43床の合計134床もの病床が減少しました。②老朽化し耐震性に課題のある森本病院、吉祥寺南病院の建てかえは喫緊の課題であること。

特に吉祥寺南病院については、先日給水管の劣化により入院患者の受け入れを縮小するなど、施設の老朽化がかなり進んでいることが想像されます。

このように、相次ぐ病院の廃院、そして現存する病院の老朽化と耐震性の課題は、災害時の医療拠点としての機能等を考えても、今、吉祥寺地区の医療と病院機能は危機的な状況にあり、市民にとって大変不安なことです。

地域の声としましては、平成27年4月に開催した、吉祥寺南町コミュニティセンターにおける地域フォーラム「どうなるの？これからの南町の病院事情」において、さまざまな意見交換、話し合いの中で、若い参加者の方から「病院のために私たちは何をすればよいのでしょうか」という発言が出るなど、地域にある病院への期待が、大変大きいものになっていることがわかります。

特に、吉祥寺南病院は、開院してから地域との関係をよくしたいと、コミュニティ活動に積極的に参加し、コミセンで健康講座を開催するなど、住民との距離を縮め、私たち住民も意見を言わせてもらい、現在は大変よい関係を構築し、患者さんからの信頼も広がっています。

このような中で、平成28年11月29日に公表された、森本病院と吉祥寺南病院の共同による新病院計画は、私たちにとって、大変期待が大きいものです。吉祥寺地区の病院機能の維持・向上、安心・安全のためにも、ぜひとも森本病院と吉祥寺南病院の新病院計画の課題に、市として迅速かつ真摯に取り組んでいただきたいと思っております。

以上の趣旨より、次のとおり陳情いたします。

記

- 1 吉祥寺地区における救急病院機能と入院機能の維持のため、市としての取り組みを進めること。

2 森本病院と吉祥寺南病院の共同による新病院計画について市としての具体的な支援策を検討すること。